

市教委との 懇談会

(市P連事業部会 常任委員 筆)

10月22日(火)13:30より、令和6年度 倉敷市教育委員会と倉敷市PTA連合会との懇談会が倉敷市役所9階教育委員室で開催されました。

当日は、倉敷市教育委員会から森茂治生涯学習部長をはじめ7名の方々と、倉敷市PTA連合会から武田将典会長以下8名、倉敷市公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会から大西大樹会長以下1名、事務局3名の計22名にて開催されました。

開会にあたり、武田会長・森生涯学習部長よりご挨拶を賜りました。続いて、順次自己紹介を行い、参加者同士の意思疎通を図りました。

この懇談会の目的は行政の方々にPTAが直面している様々な問題に対して、我々の思いや現状を直接お話しすることで、行政・学校・PTAの三者が一体となって子どもたちの未来を明るくしていくことが目指すべきところであり、この懇談会がその足掛かりとなることを願いつつ、有意義な時間となることを視野に進行されました。



* 倉敷市公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会(市幼・こP)



① 「教職員の増員」について

職員体制の充実に向けて、大学など各方面に対して広報を行うことで、人材確保に努めていく。今後も新規採用者の適切な配置に努めていく。

② 「エアコンの増設」について

建物自体の老朽化の問題と重ねた議論が必要であり、予算確保と整備計画を並行して実施していく方針。

③ 「連絡アプリ」について

不具合や改善点などが浮かび上がってきているが、パッケージ製品の為、倉敷市以外でも使っている関係上、他市や協力会社とも調整しながら改善を行うよう検討中。

④「PTA会費の使い方」について

PTAに加入しない方がいることも踏まえて、活動内容や活動の在り方について検討していく必要があるのではないか。

* 倉敷市PTA連合会としては、PTAの未加入問題に関連する内容については、倉敷市の指針・見解を理解したうえで各園に対して対応についての在り方を模索していきたいと考えている。

* 倉敷市PTA連合会(市P連)

①「PTAの個人情報の取扱い」について

現状を市P連より報告した。大前提として、教育委員会・学校・PTAで課題の共有が必要であり、継続的課題である。個人情報の取扱いは過渡期であり、将来問題が表面化する前に、単位PTAの個人情報保護規程の制定等を急ぐ必要性を感じた。



②「保護者連絡帳アプリ」について

昨年より『eこねっと』から移行され、便利になった部分もあるが、アプリのインストールから初期設定が複雑すぎて扱いにくかったこと、兄弟姉妹がいる場合は設定が上手くいかず苦勞したことなどを報告した。教育委員会サイドからは、説明不足な点もあったかと思うが、改善も行いながら利便性は向上していること、欠席連絡は各担任も確認でき、連絡ミス防止になっていることなど説明があった。



③「部活動の地域移行」について

働き方改革が叫ばれ、教職員への応募が減少傾向である中で、いずれは着手しなければならない案件ではあるが、倉敷市として、いつまでに地域移行するかということは、正式に決まっていないと説明があった。保護者としては、時代の流れて、以前のような熱血漢の先生が少なくなっているという背景も垣間見えた気がした。



* 今回の懇談会では、昨今の課題である「PTA任意加入問題」「個人情報の取扱い」「教職員の働き方改革・教職員の人材不足」について教育委員会の方々と意見交換ができたことは、一歩前進ではないかと思った。何もしなければ何も変わらないが、変えるためには大きな力が必要である。その理念のもとPTA（連合会）は、個々の力を結集して、一つにまとめていかななくてはと思った。教育委員会とPTA・学校が同じ方向を見て、子どもたちの未来を明るくしていくという目的達成に向けて、今日の懇談会が有意義なものであったことを心から感謝して活動を継続していきたいと感じた。